2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　中外鉱業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1491　　ＵＲＬ　http://www.chugaikogyo.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）西元　丈夫
問合せ先責任者　（役職名）ＩＲ センター室長　　（氏名）桜庭　勲　　ＴＥＬ　03-3201-1541

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	146,263	29.7	△435	－	△532	－	△651	－
2026年３月期中間期	112,748	58.0	798	18.0	722	15.7	718	△11.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△651百万円（－%）　2026年３月期中間期　718百万円（△11.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△45.37	－
2026年３月期中間期	49.89	－

（注）当社は、2025年10月１日を効力発生日として株式併合（普通株式20株につき１株）を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算出しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	20,121	8,221	40.9
2026年３月期	17,570	9,366	53.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　8,221百万円　2026年３月期　9,366百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	34.00	34.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	278,000	△1.3	200	△91.8	30	△98.7	△100	－	△6.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,487,399株	2026年３月期	14,487,399株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	124,501株	2026年３月期	117,723株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,365,455株	2026年３月期中間期	14,410,418株

（注）当社は、2025年10月１日を効力発生日として株式併合（普通株式20株を１株に併合）を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(セグメント情報等の注記) …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善など景気は緩やかな回復が見られるものの、継続的な物価上昇や国際情勢の不安定化、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況においては、各国中央銀行の準備資産や地政学的リスクを背景とした安全資産需要が意識されるものの、米国景気の底堅さを背景に利上げが進行し、ドル高となったこと等から、金・プラチナ価格は下落基調で推移いたしました。業績については、売上高は堅調に推移したものの、貴金属相場の下落による利益の圧迫に加え、棚卸資産評価損を計上したことから利益は低調に推移いたしました。機械市況においては、内外需ともに堅調に推移しているものの、中古工作機械業界の主要顧客層である中小企業においては、設備投資は減少傾向にあり厳しい事業環境のもと推移いたしました。コンテンツ事業においては、人気タイトルのグッズ販売に努めたものの、イベント関連の人件費及び販促費が増加したことに加え、棚卸資産評価損を計上したことから業績は低調に推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は146,263,205千円（前年同期112,748,642千円　29.7％増）、営業損益は435,528千円の損失（前年同期798,119千円の利益）、経常損益は532,356千円の損失（前年同期722,057千円の利益）、親会社株主に帰属する中間純損益は651,823千円の損失（前年同期718,875千円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は144,568,533千円（前年同期110,997,626千円）、営業損益は140,556千円の損失（前年同期915,903千円の利益）となりました。

機械事業におきましては、売上高は416,025千円（前年同期384,485千円）、営業損益は16,562千円の利益（前年同期5,836千円の利益）となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,254,044千円（前年同期1,366,648千円）、営業損益は16,076千円の利益（前年同期164,301千円の利益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より2,550,427千円増加し、20,121,014千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より2,612,384千円増加し、15,871,364千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加（554,916千円から1,201,324千円へ646,407千円の増加）、商品及び製品の増加（3,160,023千円から3,694,183千円へ534,159千円の増加）及び原材料及び貯蔵品の増加（1,465,688千円から4,640,421千円へ3,174,732千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（6,299,962千円から4,328,178千円へ1,971,783千円の減少）であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より61,956千円減少し、4,249,650千円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より3,704,907千円増加し、9,709,733千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加（1,584,349千円から3,463,267千円へ1,878,918千円の増加）及び前受金の増加（1,722,964千円から3,703,101千円へ1,980,137千円の増加）であります。

減少の主なものは、未払法人税等の減少（733,234千円から7,018千円へ726,215千円の減少）であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より8,704千円減少し、2,190,103千円となりました。

純資産の残高は、前連結会計年度末より1,145,775千円減少し、8,221,176千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（3,240,346千円から2,099,954千円へ1,140,392千円の減少）であります。

(キャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より1,971,783千円減少し、4,328,178千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,862,196千円（前年同期は689,491千円の使用）となりました。これは主に仕入債務の増加額1,878,918千円及び前受金の増加額1,980,137千円等による資金の増加があったものの、税金等調整前中間純損失532,356千円、売上債権の増加額646,407千円及び棚卸資産の増加額3,788,960千円等による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は139,065千円（前年同期は571,927千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出87,345千円等の資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は29,491千円（前年同期は589,720千円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出788,000千円及び配当金の支払額463,395千円等の資金の減少があったものの、短期借入れによる収入1,330,000千円の資金の増加があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては2026年11月12日に公表の「2027年３月期第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,299,962	4,328,178
売掛金	554,916	1,201,324
商品及び製品	3,160,023	3,694,183
仕掛品	1,553,327	1,633,395
原材料及び貯蔵品	1,465,688	4,640,421
預け金	50,220	50,220
その他	236,112	384,913
貸倒引当金	△61,271	△61,271
流動資産合計	13,258,979	15,871,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,213,620	2,222,181
減価償却累計額	△445,131	△499,325
建物及び構築物（純額）	1,768,488	1,722,855
機械装置及び運搬具	567,364	608,563
減価償却累計額	△519,044	△530,174
機械装置及び運搬具（純額）	48,320	78,389
土地	1,472,391	1,472,391
その他	209,825	210,194
減価償却累計額	△118,021	△133,370
その他（純額）	91,804	76,824
建設仮勘定	－	36,971
有形固定資産合計	3,381,004	3,387,431
無形固定資産		
その他	15,427	13,009
無形固定資産合計	15,427	13,009
投資その他の資産		
投資有価証券	110,071	110,071
関係会社出資金	379,833	379,833
出資金	167,661	165,160
敷金及び保証金	145,169	193,636
繰延税金資産	109,111	－
その他	50,030	47,210
投資損失引当金	△46,704	△46,704
投資その他の資産合計	915,174	849,208
固定資産合計	4,311,606	4,249,650
資産合計	17,570,586	20,121,014

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,584,349	3,463,267
短期借入金	1,650,000	2,192,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
１年内返済予定の長期借入金	81,338	82,097
未払金	68,840	78,004
未払法人税等	733,234	7,018
前受金	1,722,964	3,703,101
契約負債	2,467	3,137
その他	111,630	131,105
流動負債合計	6,004,825	9,709,733
固定負債		
長期借入金	1,917,227	1,876,354
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	56,066	85,315
資産除去債務	219,400	219,400
繰延税金負債	－	3,337
その他	2,161	1,743
固定負債合計	2,198,808	2,190,103
負債合計	8,203,633	11,899,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,147,425	6,147,425
利益剰余金	3,240,346	2,099,954
自己株式	△120,820	△126,203
株主資本合計	9,366,952	8,221,176
純資産合計	9,366,952	8,221,176
負債純資産合計	17,570,586	20,121,014

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	112,748,642	146,263,205
売上原価	110,716,196	145,293,252
売上総利益	2,032,446	969,952
販売費及び一般管理費	1,234,326	1,405,481
営業利益又は営業損失（△）	798,119	△435,528
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,705	2,288
国庫補助金収入	8,593	7,788
未払配当金除斥益	3,374	1,477
その他	3,496	2,191
営業外収益合計	17,171	13,745
営業外費用		
支払利息	18,727	35,290
休山管理費	48,657	41,119
為替差損	642	2,514
支払手数料	11,958	28,696
その他	13,247	2,952
営業外費用合計	93,233	110,573
経常利益又は経常損失（△）	722,057	△532,356
特別利益		
固定資産売却益	1,049	－
特別利益合計	1,049	－
特別損失		
固定資産除却損	1,697	－
特別損失合計	1,697	－
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	721,409	△532,356
法人税、住民税及び事業税	7,035	7,018
法人税等調整額	△4,501	112,448
法人税等合計	2,534	119,467
中間純利益又は中間純損失（△）	718,875	△651,823
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	718,875	△651,823

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	718,875	△651,823
中間包括利益	718,875	△651,823
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	718,875	△651,823

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	721,409	△532,356
減価償却費	38,937	83,336
契約負債の増減額（△は減少）	△3,500	670
受取利息及び受取配当金	△1,705	△2,288
支払利息	18,727	35,290
国庫補助金収入	△8,593	△8,593
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,049	－
有形固定資産除却損	1,697	－
為替差損益（△は益）	635	2,500
売上債権の増減額（△は増加）	△267,411	△646,407
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,719,350	△3,788,960
仕入債務の増減額（△は減少）	702,807	1,878,918
未払金の増減額（△は減少）	△62,990	9,123
前受金の増減額（△は減少）	1,294,587	1,980,137
預り金の増減額（△は減少）	△33,796	△3,838
その他	△347,390	△112,126
小計	△666,986	△1,104,594
利息及び配当金の受取額	1,705	2,288
利息の支払額	△18,692	△35,249
国庫補助金の受取額	8,593	8,593
法人税等の支払額	△14,111	△733,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△689,491	△1,862,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△563,593	△87,345
有形固定資産の売却による収入	1,155	－
敷金及び保証金の回収による収入	475	614
敷金及び保証金の差入による支出	△9,964	△52,334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,927	△139,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	1,330,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△788,000
長期借入れによる収入	737,373	－
長期借入金の返済による支出	△18,027	△40,113
自己株式の取得による支出	△81	△5,491
自己株式の売却による収入	－	108
配当金の支払額	△277,075	△463,395
リース債務の返済による支出	△2,468	△418
その他	－	△3,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	589,720	29,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△671,698	△1,971,783
現金及び現金同等物の期首残高	4,141,237	6,299,962
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,469,538	4,328,178

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	110,997,626	376,710	1,366,648	7,657	112,748,642	－	112,748,642
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7,775	－	7,365	15,140	△15,140	－
計	110,997,626	384,485	1,366,648	15,022	112,763,783	△15,140	112,748,642
セグメント利益又はセグメント損失（△）	915,903	5,836	164,301	△16,547	1,069,493	△271,373	798,119

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△271,373千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△271,373千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	144,568,533	408,720	1,254,044	31,907	146,263,205	－	146,263,205
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7,304	－	7,365	14,669	△14,669	－
計	144,568,533	416,025	1,254,044	39,272	146,277,875	△14,669	146,263,205
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△140,556	16,562	16,076	△61,879	△169,796	△265,731	△435,528

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△265,731千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△265,731千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。